



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2012 **7**



6月27日(水)、兵庫県民会館において、「第62回通常総会」を開催しました。(関連記事P.4~7)

「幸せの青い鳥」に 想いを託して



暮らしの安全と安心を見守る青い鳥 神戸市民生協

このたび、神戸市民生協では、中央区雲井通のサンパルへの事務所移転に伴い、ロゴマークを一新。「四葉のクローバーをくわえた幸せの青い鳥」のデザインとした。組合員の皆様のあるようにという思いであり、キャッチコピーも「暮らしの安全と安心を見守る青い鳥」とした。

当生協は、昭和三〇年に産声を上げた。当時、わが国の生活水準は徐々に向上していたが、予期せぬ火災に対する保障体制は十分でなく、そうした損害を保障する火災共済制度の導入が求められていた。そしてこの問題に対処するため、火災共済制度の検討が始まり、「神戸市民生協」が設立された。わずかな掛け金でお互いに救済しあう火災共済事業。当生協の原点がここにある。

その後、当生協は時代の求めに応じ、ホテル、結婚式場、観光、住まい、駐車場・異人館管理運営など幅広い事業を展開してきた。しかし、生協法の改正により、いよいよ来年度からは設立当初の原点に回帰することになった。火災共済、交通災害共済、医療共済、こども共済を取り扱う、兵庫県民の皆様を対象とした共済事業専門生協となる。

思えば長い月日の中で様々な歴史を刻んできたが、平成七年一月十七日には阪神・淡路大震

CONTENTS

2. 想点	10. 2012年度会員生協総代会報告
4. 兵庫県生協連 第62回通常総会報告	14. 協同組合のかけ橋
6. 2012年度活動計画	15. 兵庫県のページ
7. 第1回理事会報告／新執行体制	16. 「ピースアクション2012」のご案内／ 事務局人事異動／県連日誌／編集後記
8. 2011年度第6回理事会報告／ 「労働安全衛生研修・学習会」のご案内	
9. 単協通信 尼崎信用金庫職員生活協同組合／ 近畿労働金庫兵庫地区統括本部	



神戸市民生活協同組合 専務理事
兵庫県生活協同組合連合会 理事

小野田 敏行

(おのだ・としゆき)

災との遭遇という大きな出来事があった。当時の七階建ての事務所は損壊し、使用禁止となった。職員の自宅も大きな被害を受けた。しかし、このようなときこそ生協の真価が問われると、二日後には別に仮事務所を設け、対策本部を設置して職員一丸となってこの危機を乗り切った。一方、地域では阪神・淡路大震災を教訓とした自主防災組織である「防災福祉コミュニティ」が誕生している。日頃からコミュニティ活動が活発な地域ほど災害活動や復興がうまくいったという教訓から誕生したものであるが、神戸に「防災福祉コミュニティ」が生まれたことは、「生活協同組合発祥の地、神戸」と無縁ではあるまい。コミュニティ活動、生協活動ともにその精神は助け合いである。そして東日本大震災。未曾有の被害は生協自身の円滑な業務運営にも大きな支障が出ることになる。当生協の仲間である全共連の中で、共済生協相互の応援体制を構築する議論が生ま

れ、東日本大震災や阪神・淡路大震災の教訓が生かされようとしている。同時に、兵協連の間はそれぞれの立場で東北復興支援を行っている。各生協の役員から直接活動内容を伺うと、生協同士の絆の深さや、活動の奥深さを感じる。まさに我が国が誇る地域に根付いた相互扶助の精神である。当生協も何ができるか組合員とともに考え、できる限りの支援を行っていきたいと考えている。

隔月に開催されるこの兵協連の理事会に初めて出席した時、各生協の皆さんの熱い想いに圧倒された。購買生協での食の安全や行政支援への取り組み、医療生協での健康への取り組み、大学生協での消費者教育、そして共済生協での安心の確保など実に幅広い様々な活動を知ることになる。これまで外部からしか見ていなかった生協活動の中に入ってみると、生協活動とは何かを考えさせられる。地域で実に幅広い様々な生協活動が展開されていることを実感する。

本年は、国際協同組合年である。これは、社会経済発展への生協の貢献が国際的に認められた証である。神戸市において今秋、アジア太平洋地域総会が開催される予定となっているが、歴史ある地域生協の活動を社会に広くアピールする絶好の機会である。

「支えあい・助けあいの市民共済」を理念とする当生協は、その誕生した原点を思い起こし、人口減少、超高齢化、経済低成長社会等を見据え、組合員の安心を確保するために、これまでの様々な経験を活かすとともに創意工夫による経営基盤の安定を図っていかねければならないと考えている。

四葉のクローバーには、一枚一枚に「希望」、「誠実」、「愛情」、「幸運」の四つの意味があるという。当生協はクローバーの想いを胸に、組合員の一人ひとりの幸せを願い、「青い鳥」の小きくとも確かな羽ばたきをもって「新生・神戸市民生協」として新たな一歩を踏み出していきたい。

基本
テーマ

コミュニティ・ネットワークの構築

「協同が息づく兵庫のまちづくり」



6月27日(水)兵庫県民会館において、兵庫県生協連第62回通常総会を開催しました。代議員総数39名中、39名が出席(実出席31名、委任出席0名、書面議決8名)、2011年度活動報告、2012年度活動計画(案)など6つの議案について審議し、全議案が満場一致で可決されました。

当日は、兵庫県生協連 高橋 秀行理事(関西学院大学生協専務理事)の司会ではじまり、本田英一会長理事が、「昨年の東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の

事故から1年が経過しました。改めまして被災され亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害にあわれました方々へお見舞いを申し上げます。

いまだ厳しい状況が続いており、私たちは被災地の復旧、復興に向け、全国の協同組合の仲間と共に支援と協力を引き続き行っていく所存です。

今年、国連が提唱した「国際協同組合年」。

その取り組みとして、今年1月12日に兵庫県協同組合連合会(兵庫

JCC)に加盟する生協、農協、漁協、森林組合の共催で、2012国際協同組合年キックオフ大会を開催しました。

基調講演では、神戸大学名誉教授の野尻武敏先生から「協同組合の未来は若い世代にかかっています」という、次世代の職員への期待を示していただきました。

ICA(国際協同組合同盟)原則には7つの原則があり、その1つに「教育、訓練および広報」という原則があります。

そこには「協同組合の発展に効果的に貢献できるように教育訓練を実施すること」が書かれています。

生協が地域社会に果たす役割がますます大きくなる中、役割を担う職員の人材育成、とりわけ、協同組合運動の原点に立ち返る取り組みを実施し



神戸市市民参画推進局市民生活部
中塚 弘明 部長



兵庫県健康福祉部
山本 嘉彦 福祉監



日本生協連関西地連
山内 寛 事務局長



兵庫県農業協同組合中央会
浜田 充 専務理事



監査報告をされる
藤田 雄三 特定監事



議長をされる
松山 昇治 代議員





司会をされる
高橋 秀行 理事



西宮市民共済生協
河村 英三 代議員



大学生協阪神事業連合
隅田 幸博 代議員



ろっこう医療生協
古市 賢二 代議員



コープこうべ
岡本 孝子 代議員

ていく所存です。
2012年度国際協
同組合年を契機に、
これまで以上に協
同組合間の連携を
強化し、地域社会
の中で貢献活動
に取組んでいくこ
とで生協運動の推
進を図りたいと思
います。
本日の総会が新
たな課題に取り組
む出発の節目とな
りますよう、皆様
方の熱心なご審議
をよろしくお願い
申し上げます。」
と挨拶し、続いて
来賓を代表して兵
庫県健康福祉部福
祉監・山本 嘉彦
様、神戸市市民参
画推進局市民生活
部長・中塚 弘明
様、兵庫県農業協
同組合中央会専務
理事・浜田 充様、
日本生協連関西地
連事務局長・山内
寛 様から、そ
れぞれ大会の盛会
と今後の発展を祈
念したご祝辞をい
ただきました。

総会では、兵
庫労働共済生協
の松山昇治代議
員が議長に選任
され、議事を進
行。第1号議案
2011年度活動報告ならびに決算
報告及び剰余金処分案承認の件、第2
号議案2012年度活動計画案なら
びに収支予算案の件について大西専
務理事から提案・説明が行なわれまし
た。(2012年度活動計画の重点課
題は次のページに掲載しています。)
続いて、藤田雄三特定監事より監査
報告がありました。
その後、地域、医療、大学、共済
生協それぞれの分野の会員生協から、
2011年度活動報告が行われまし
た。
最初に、コープこうべ・岡本孝子
代議員から「地域の活性化と組合員
リーダー育成について」と題して報
告がありました。「消費者契約をめぐ
るトラブルに巻き込まれるケースが
増加。被害も小学生低学年まで広が
っているのが現状です。子どもの頃か
ら「消費者力」「知識力」「判断力」「行
動力」を身につけることが求められて
います。昨年、兵庫県と「ひょうごく
らしの親子塾」を各地で開催しまし
た。これからも地域力と消費者力を高
めるため、今後も各自自治体としっかり
連携しながら、地域の方々が安心して
暮らせる環境づくりにお役立ちして
まいります」と述べられました。

次に、ろっこう医療生協・古市賢
二代議員から「東北被災地 いかな
ご届け隊」と題して報告がありまし
た。「ろっこう医療生協では、今年の
3月下旬に「いかなご届け隊」プロ
ジェクトとして、東日本大震災の
被災地である岩手県大船渡市と福島
県福島市に、組合員が手分けして炊
いた「いかなごのくぎ煮」を届けまし
た。大船渡市の仮設住宅をまわり、いかな
ごをお渡しすると、「遠くから、あり
がとう」の声に思わず阪神・淡路大震
災の時の自分たちの姿を重ねました。
福島では、春休みだというのに子ども
たちの姿のない公園、モニタリングポ
スト、除染している場所などを案内し
ていただきました。現地の生協組合員
との交流では、放射能への不安などい
ろいろな心情が出されました。さまざ
まな支援活動が続けて、私たちが被災
地の方々とふれあうことによつてた
くさんのことを学びました。これから
も、どこよりも早く、長く、深くをモツ
トーに、支援活動が続けていきます」
と、力強く締めくくられました。
続いて、大学生協阪神事業連合・隅
田幸博代議員からは「行政と一緒に
取り組む消費者教育の推進について」
と題して報告がありました。「大学生
協は、行政と2つの協定書を結んで
います。そのひとつは、「子育て支援
の協定書」。これからの生活設計のた
めにワークライフバランスなどのセ
ミナーを行っています。2つ目の「消
費者教育の協定書」は、コンテンツに
ついては、スマートフォンで見ることが
できるなど学生に便利なツールにし
ています。それを全国で一緒に使えるよ
うにして、できるだけローコストにし
ています。阪神地区は、全国の中でも
消費者教育が相当進んだ地域です。県
のご推薦をいただき、このたび消費者
庁から「ベスト消費者サポーター章」
をいただきました(関連記事P.11)。
また今後は、こころの健康についての
活動にも取り組むかと思つていま
す」とのご報告がありました。



(左より)
桑村義敏理事、若山忠義理事、三宅康平専務

最後に、西宮市民共済生協・河村
英三代議員からは、「普及推進の取り
組みについて」と題してご報告いた
だきました。「普及活動を地道に繰り返
すことが、現状を打破し、活動を見
出すことになる」と普及活動に取り組
みました。広報活動ではこれまでの宣
伝チラシを一新、インターネット社会
に対応したホームページのリニュー
アル、インターネット受付による契約
などに取り組みしました。新たな活動が
始まったばかりですが、地域のみなさ
まとのふれあいを大切に、今後と
も、よりきめの細かい組合員サービ
スや地道な活動、時代に対応できる普及
活動を行っていきます」と力強い決意
をご報告いただきました。
その後、第1号議案、第2号議案の
審議を行い、続いて第3号議案から第
6号議案についても提案と審議が行
われ、全ての議案が満場一致で可決・
承認されました。
役員選任と第1回理事会の結果、新
しく兵庫県生協連 専務理事に三宅 康
平(生活協同組合コープこうべ・統括
部長)、理事に桑村 義敏(兵庫県学校
生協・専務理事)、若山 忠義(近畿労
働金庫兵庫地区統括本部・本部長)(敬
称略)の各氏が就任されました。

2012年度 活動計画

基本テーマ コミュニティー・ネットワークの構築 ～協同が息づく兵庫のまちづくり～

重点課題

- 課題1 会員の組織・経営基盤の強化に貢献します。
- 課題2 会員生協間の事業・活動の連携と交流を促進します。
- 課題3 協同組合協同の前進をはかります。
- 課題4 行政ならびに関係諸団体との連携・交流を深めます。
- 課題5 暮らし、平和、福祉、環境など社会的諸課題に取り組みます。

課題1 会員の組織・経営基盤の強化に貢献します。

1. 会員生協の主要な事業状況を集約し、情報の共有をはかります。
(1) 主要な事業状況について、広報誌(ひょうごの生協など)に継続して掲載します。
(2) 医療・共済・大学の各部会において、事業・経営状況の分析・交流を実施し、安定した業績の残せる経営の強化を目指します。また、医療生協部会組織担当者会議を開催します。
2. 理事・監事が法に沿った役割發揮に役立てていただくための理事・監事研修を開催します。
3. 会員生協の役員を対象に活動や事業運営に役立つ研修会・講習会を実施します。また、今後への検証や見直しをしつつ、会員生協の研修活動の支援をおこな

います。

- (1) 「初級経理学校」を開催し、経理担当職員の基礎実務の習得をはかります。
- (2) 「税務・経理講習会」を開催し、経理・財務担当者の力量向上をめざします。
- (3) 内部統制(法の遵守や総合的なマネジメント等)に関する研修会を継続開催していきます。
- (4) 各分野別の研修や交流会を企画・検討していきます。

課題2 会員生協間の事業・活動の連携と交流を促進します。

1. 各研究会活動(保健・医療・福祉研究会、生活問題研究会)を充実・推進します。
2. 「監事・監査チェックリスト」の補強・修正を検討し、有効活用をさらにすすめます。
3. 県域を越えた合併・連携、コープ共済連、大学生協の阪神間の統合、医療福祉生協連合会の事業開始等の変化に対応し、引き続き兵協連合会の連携が図られるよう対応します。
4. 2012年度兵庫県生協大会を全ての会員の参画で開催します。
5. 機関誌「兵協連だより」やホームページを充実させて、会員生協間の連携と交流の促進をはかるとともに、行政・関係諸団体への発信力を強めます。また、「通信員・広報担当者研修交流会」を実施します。
6. 「生協活動委員会」を中心に、会員生

協の参画による各種取り組みを進めます。

4. 各部会などによる相互交流を通じ、県内会員生協の事業連帯の活動をさらに促進します。
5. 会員生協の役員との交流・懇談会(新春トップセミナーなど)を継続開催します。
6. 役員体育大会を実施し、生協間の役員交流を深めます。

課題3 協同組合協同の前進をはかります。

1. 兵庫JCC委員会、幹事会、事務局会議の相互理解と連携強化をすすめ、兵庫JCC(兵庫県協同組合連絡協議会)の充実を図ります。
2. 国際協同組合デー・兵庫県記念大会、協同組合研究・交流会を農協、漁協、森林組合と一緒に開催し、より一層の連帯活動の充実と、幅広い組合員の参加促進に取り組みます。
3. 機関誌「ひょうごJCC」を定期発行し、生協、農協、漁協、森林組合連動相互の情報交流と、兵協連内部はもとより、行政・関係諸団体への広報を強化します。
4. 環境保護・食の安全・食育など、地域や暮らしに貢献する取り組みについて協議し、協同組合間で連携してすすめます。
5. キックオフに続き2012国際協同組合年の行事を兵庫JCCとして取り組み、具体化・実施します。(2012国際協同組合年、ICA・AP神戸等)

課題4 行政ならびに関係諸団体との連携・交流を深めます。

1. 「近畿地区生協行政合同会議」を通じ、厚生労働省、県行政等との関係を深めます。
2. 兵庫県行政と兵協連理事会との懇談会を開催するとともに、兵庫県知事との懇談の場づくりに努めます。
3. 兵庫県、神戸市等の関係部署とのコミュニケーションを密にし、日常の関係づくりを強めます。

4. 行政や議会からの情報やその状況についてコミュニケーション向上に努めます。

5. 県下の各消費者団体とのネットワークづくりにつとめ、KC's(NPO)「消費者支援機構関西」およびNPOひょうご消費者ネット等と連携して、消費者が安心して暮らせる社会づくりに向け一緒に取組みます。
6. 県内消費者行政強化の支援と会員生協への情報提供を行います。
7. 農林水産省・近畿農政局との懇談会を通して、生協や消費者の声が行政に活かされるよう取り組みます。
8. 近畿地区府県生協連、日本生協連関西地連との協同・連帯・交流を強めます。

課題5 暮らし、平和、福祉、環境など社会的諸課題に取り組みます。

1. ピースアクションやユニセフを含めた多彩な平和の諸課題に取り組みます。
2. 食の安全・安心、消費者被害防止など暮らしと健康を守る諸課題に取り組みます。
3. 地球温暖化防止・CO2削減などの幅広い環境問題やこれからのエネルギーと暮らしの課題、また福祉活動などの社会的な課題について、生活者・消費者の視点からの学習会を検討します。
4. 東日本大震災への息の長い支援を目指すとともに、「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定」及び「実施細目」にもとづき、会員生協と連携して緊急時の救援、支援活動ができる体制づくりを進めます。また兵庫県等がおこなう防災・減災や地域の安全・安心、まちづくりなどに参加します。
5. 「賀川豊彦献身100年記念事業」での教訓を踏まえて、生協・協同組合の理念の浸透や原点を見つめ直す学習・交流等を通じて、これからの生協・協同組合活動の前進に寄与することを目指します。

兵協連第1回理事会報告

- I. 開催日時 2012年6月27日(水)
午後3時30分～3時37分
- II. 開催会場 兵庫県民会館 11階「1103」
- III. 出席者 本田、寺尾、三宅、板崎、高橋、福島、新保、伴、大沼、小野田、酒井、桑村、若山(以上、理事)
藤田、金丸、秦(以上、監事)



●会長理事、副会長理事、専務理事 互選の件
三役の互選については、理事全員の賛成で下記の理事が選任された。

会長理事 本田 英一
副会長理事 寺尾 善喜
専務理事 三宅 康平

●代表理事の選定の件
代表理事の選定については、理事全員の賛成で下記の理事が就任した。

会長理事 本田 英一
副会長理事 寺尾 善喜
専務理事 三宅 康平

●生協貸付資金審査会 委員委嘱の件
生協対策資金貸付審査会規約第3条に基づき、2012年度の審査会委員として、兵庫県生協連会長理事の他、6人が委嘱されあわせて、下記の7人が就任した。

本田 英一(兵庫県生協連・会長理事)
寺尾 善喜(兵庫県生協連・副会長理事)
三宅 康平(兵庫県生協連・専務理事)
板崎 聡(会員～神戸医療生協・専務理事)
大沼 和世(会員～生活クラブ都市生活・副理事長)
小野田敏行(会員～神戸市民生協・専務理事)
若山 忠義(学識経験～近畿労働金庫兵庫地区統括本部・本部長)

兵庫県生協連・2012年度 新執行体制

○新任

役職	氏名	単協・役職名	役職	氏名	単協・役職名
会長理事	本田 英一	コープこうべ 組合長理事	理 事	大沼 和世	生活クラブ都市生活 副理事長
副会長理事	寺尾 善喜	大学生協阪神事業連合 専務理事		小野田敏行	神戸市民生協 専務理事
専務理事	○三宅 康平	コープこうべ 統括部長		酒井 行雄	兵庫労働共済生協 理事長
理 事	板崎 聡	神戸医療生協 専務理事		○桑村 義敏	兵庫県学校生協 専務理事
	高橋 秀行	関西学院大学生協 専務理事	○若山 忠義	近畿労働金庫兵庫地区統括本部 本部長	
	福島 哲	尼崎医療生協 専務理事	藤田 雄三	姫路市民共済生協 理事長	
	新保 雅子	コープこうべ 理事	金丸 正樹	ろっこう医療生協 専務理事	
	伴 智代	コープこうべ 理事	秦 正雄	コープこうべ 常務理事	
			監 事		

～ 退任の理事 ～

大西憲慈(生活協同組合コープこうべ)
大槻信夫(近畿労働金庫兵庫地区統括本部)
井上信行(兵庫県学校生活協同組合)



2011年度 兵庫県生協連 第6回理事会報告

- I. 開催日時 2012年6月11日(月) 午後2時～3時35分
II. 開催会場 兵庫県民会館 12階「1201」
III. 出席者 本田会長理事、寺尾副会長理事、大西専務理事、
板崎、福島、大槻、新保、伴、大沼、小野田、
酒井 (以上、理事)
藤田、金丸、秦 (以上、監事)



<協議事項>

- (1) 兵協連第62回通常総会招集に関する書面議決の取り扱いについて
- (2) 兵協連第62回通常総会議案
 - ①第1号議案 2011年度活動報告承認について
決算報告、剰余金処分案承認について
監査報告について
 - ②第2号議案 2012年度活動計画および収支予算案承認について
 - ③第3号議案 役員選任について
 - ④第4号議案 役員報酬決定について
 - ⑤第5号議案 常勤役員の退職慰労金支給について
 - ⑥第6号議案 議案決議効力発生について
- (3) 兵協連2012年度会費額決定について
- (4) 県知事感謝表彰、および兵協連会長表彰について
- (5) 2012年度兵協連研修計画(案)について

<報告事項>

- (1) 「会員生協の概況報告」について、各出席理事・監事より報告
- (2) 前回理事会から6月初旬までの兵協連諸行事・諸活動報告
- (3) 兵協連第62回通常総会の運営について
- (4) 2012年度兵庫JCC幹事会の開催報告
- (5) 2012国際協同組合年「第90回国際協同組合デー・兵庫県記念大会」について
- (6) 「引当金」について
- (7) 総会直後の第1回理事会協議事項(案)について
- (8) 対外団体の役員等推薦について

兵協連第3回「労働安全衛生研修・学習会」のご案内

事業・活動と職場の労働安全衛生などの大切さについて研修会を開催いたします。
働きやすく、安全な職場環境のあり方について、実例をあげながら解説いただきます。役職員の皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

「労働安全衛生研修・学習会」

日時：7月27日(金) 14時～16時30分
会場：兵庫県民会館 7階 ぼたん
対象：会員生協・団体の役職員(定員36名)
講師：茶園 幸子氏(社会保険労務士)



尼崎信用金庫職員生活協同組合

尼崎信用金庫 橋本理事長

旭日小綬章を受章



尼崎信用金庫理事長 橋本博之は、平成24年4月29日の内閣府発表による春の叙勲において、平成24年國家褒章「旭日小綬章」を受賞しました。

「旭日小綬章」は、國家または公共に対し功勞があり、功績の内容に着目し、顕著な功績をあげた者に与えられる榮譽ある勲章です。受章は、信用金庫理事長として地域經濟の發展に寄与するとともに、全国信用金庫協會をはじめと

する業界団体の要職を務め、業界の發展に寄与した功績が認められたものです。

橋本理事長は、受章にあたり「身に余る章を賜わることになり、誠に光榮に存じております。受賞は尼崎信用金庫が取り組む地域金融機関としての社会的役割・使命と位置付けた活動が認められたものであり、今後も尼崎信用金庫は、企業市民の一員として地域社会への貢献と地域經濟の活性化に向けて、引き続き努力してまいる所存でございます」とのコメントを発表しました。

(通信員 下山正一)

近畿労働金庫兵庫地区統括本部

「2012 國際協同組合年」記念事業キックオフ・イベント 「協同組合の可能性を探るシンポジウム in 神戸」を開催いたしました。

6月2日(土)、賀川記念館・メモリアルホールにて、「協同組合の可能性を探るシンポジウム in 神戸」を開催しました。

シンポジウムでは、第1部として野尻武雄 神戸大学名誉教授(元コープこうべ理事長)による「基調講演」、第2部は、生協連・全労済・ろうきん・NPOの実践者をお招きした「報告セッション」を内容としました。

当日は、土曜の午後にも関わらず、NPO・企業・学生などのさまざまな分野の方をはじめ、ろうき



講演される 野尻武敏 名誉教授

ん・全労済・生協の職員が参加、定員60名のところ、約90名もの参加をいただき、会場は満席で座席を追加するほどでした。

参加者からは、「協同組合の果たしている役割が良く分かった」「協同組織で働く喜びと責任を感じた」「協同組合やNPOの活動を知る機会をいただき勉強になった」「地域でNPOが果たす役割が大きいことが分かった」「協同組合とNPOとの連携に期待したい」などの声アンケートで多数寄せられ、とても好評でした。

(通信員 森下晃司)



約90名が集いました



震災復興支援にかかわる活動を中心に報告

総代会報告

■生活協同組合コープこうべ

第92期通常総代会が開催されました

6月12日(火)、「第92期通常総代会」が神戸ポートピアホテルで開催され、当日は、総代総数1092人中、1081人(書面議決、委任状)が出席。2011年度事業報告と決算報告、2012年度事業計画(案)と収支予算(案)など6つの議案がすべて可決・承認されました。



冒頭、櫻井啓吉理事長があいさつ。続いて本田英一組合長理事が、第1号議案の2011年度事業報告として、①大阪北生協との合併、②東日本大震災への対応、③原発事故に伴う放射能汚染問題への対応、④経営改革の取り組みを述べ、その後、貸借対照表、損益計算書に基づき決算報告した後、第2号議案の2012年度事業計画、収支予算案を提案しました。「新中期計画」の基本方針のもとに、あらためて生協の原点に立ち返り、生協らしい事業を追求していくために、

(1) 生協らしい組織運営のあり方を追求し、健全な社会の確立

(2) 東日本大震災の被災地支援に継続して取り組むとともに、自然災害や放射性物質による食品汚染などのくらしの不安に真摯に取り組むこと

(3) 安定した収益力を確保するための経営改革を継続し、新たな事業戦略への準備を進めること

なお、任期満了に伴う監事候補が提案され、7人全員が選任されました。
(通信員 榊原昌子)

■生活クラブ生活協同組合都市生活

2012年6月7日(木) 兵庫県中央労働センターにおいて、2012年度の生活クラブ都市生活第26回通常総代会が、総代の実出席87・委任状出席14・書面出席15名で開催されました。今年、例年の会場から初めての



の会場に変わりました。昨年までは椅子だけでしたが、今年は机を用意し、座席は支部ごとに指定しました。また、開催時間も

昼食休憩をなくし短縮しました。出来るだけ皆さんの総代に最後まで審議していただくために工夫を行いました。また、事前に開催された各支部議案書説明会での質疑をまとめたものを手元資料として配布し、当日の質疑の中でもあらためて理解がすすむようにしました。結果、活発な議論の後、すべての議案が、原案通り可決承認されました。

(通信員 紺本 直)

■兵庫県学校生活協同組合

2012年6月26日(火)午後1時より、神戸市中央区のラッセホールにおいて、総代数120名中115名の出席により第86回通常総代会を開催しました。

議長の進行により、各議案について順次、提案・報告、審議されましたが、すべて満場一致で可決承認されました。

なかでも、共同購入事業をはじめとする各供給形態での取組結果や学校生協型連帯を目指したガッツコープ事業連合の活動、大幅な経費削減によりプラスとなった損益の概況等について、各総代は熱心に聞いておられました。





また、本年度は任期満了に伴う役員改選が行われ、理事14名・監事2名が選任されました。続いて、現在、供給促進活動に取り組んでいる「夏のギフト」についての事業紹介と状況報告を行うとともに、この企画で取り組む「東日本大震災復興支援コーナー」の利用を呼びかけました。

閉会前には任期満了に伴い退任する泉理事長のあいさつがあり、総代会閉会後に2012年度第2回理事会を開催し、代表理事・理事長に池田啓子、副理事長に加賀晴彦、専務理事に桑村義敏が就任しました。

(通信員 池田周二)

■甲南大学生生活協同組合

5月24日(木) 16時30分より、甲南大学学友会館3階生協食堂において、2012年度(第44回)通常総代会を開催しました。

当日は総代総数121名中、100名の出席(本人出席36名、書面議決64名)がありました。すべての議案が多数の賛成により可決承認されました。

当日出席できない総代の方に書面議決用紙をお渡しする際には生協への意見や要望を記入していただく用紙も同時にお渡しして、記入をお願いしています。営業時間や価格への要望も多い中、今年度は

「今のままがいい」・「前より使いやすくなった」等々のご声援も多く励みになりました。総代会にて何件か紹介させていただきました。

総代会閉会後、第1回理事会が開催され、昨年に引き続き理事長に安西敏三代代表理事が、専務理事に初田真紀子代表理事が就任いたしました。

理事会終了後は学友会館2階のレストランにてレセプションを開催し、理事・監事と総代会を運営してくれた学生及び生協職員の懇親会を行いました。

今年度は教員理事・監事や大学職員理事も全員重任していただきましたので、結束力の高い理事会活動を進められると思います。

2012年度は「自分たちの甲南大学生協」と思っていただけを取り組みを進め、経営の改善を進め、「甲南大学に生協があつてよかった」と感じていただけるように生協としての価値を高められる活動を行います。(理事會室 中谷満子)

■兵庫県立大学生生活協同組合

兵庫県立大学生協では5月26日に姫路書写キャンパスにて第22回通常総代会を開催しました。

多くの方の実出席をいただき、昨年度のさまざまな活動や今年度目指すべき姿を総代の皆さんにご報告しました。

特に、兵庫県との連携事業におけ

る学生による若者消費者力アップ事業の一環として取り組んだ、新入生向けの「消費者トラブルに遭わないための啓発ビデオ」の上映では大きな反響をいただきました。

2012年度は、「組合員の充実したキャンパスライフ実現を目指します！」をモットーに、各種事業活動と学生委員会活動がタッグを組んで、オール大学生協で各キャンパスに貢献したいと考えています。

(通信員 藤井貴浩)

■大学生協阪神事業連合

組合員が主役となる

キャンパスライフの実現に向けて

去る5月27日(日)に、大阪大学吹田キャンパスにおいて、大学生協阪神事業連合の第2回通常総会を開催いたしました。当日は代議員24会員39名の出席により、すべての議案が承認されました。

昨年9月に阪神事業連合となつてから初めての通常総会であるため、



合併による効果や今後の課題について討議をおこないました。

私たち大学生協は、2010年より大学生のための消費者教育に関する取り組みを、行政の方とともにこなしてきましたが、この度、兵庫県のご推薦により、消費者庁「ベスト消費者サポーター章」を授章することができ、総会の中で授章式を執りおこないました。大学生協は学生という若年層の消費者を多くの組合員として運営しています。これから消費者(組合員)と事業者(大学生協)、そして行政が一体となって、消費者(組合員)が主役となる社会(キャンパスライフ)の実現に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

(通信員 藤江正俊)



■神戸医療生活協同組合

第70回 通常総代会開催される

6月24日(日)神戸朝日ホールにて、第70回通常総代会が開催されました。総代・理事・監事・オブザーバー総勢445名の参加でした。

今年初めて開催した「地区別総代会」で出された意見や質問に答える形で、板崎専務が2012年度の運



動方針案を提案し、討論では、多彩な活動が事業所や支部から報告されました。

また、組合員表彰、職員
の勤続表彰をし、新入職員
による元気なパフォーマンス
も披露されました。

満場一致で、2012年
度「私たちの運動のすすめ
方」が採択され、新年度の運動が本
格的に始動しました。

(通信員 日笠美樹)

■阪神医療生活協同組合

第43回通常総代会を6月24日9時
30分、園田地区会館大ホールにて総
代221名の出席により開催しまし
た。

2011年度は診療所の新築移転
と短時間通所リハビリ事業の推進に
取り組みました。小中島診療所の新
築移転ではプロジェクトチームを立
ち上げて組合員の願いや要望、アイ
デアを取り入れました。増資運動で
は多くの組合員より応援を得て、目
標額を上回る増資により、2012
年の4月に移転を完了することがで
きました。

また、わ
かくさ診
療所のリ
ハビリに
特化した
短時間通
所リハビ



り事業を5月からオープンさせ、ス
タッフの努力が実り、順調に利用者
が増加し、4ヶ月目には剰余を出す
までになりました。

組合員活動では、一人暮らしや高
齢者の方が安心して生活が出来る地
域づくりのために、地域の組合員と
ともに、ふれあい訪問に取り組みま
した。

2012年度は、組合員自治と組
織担当の役割についての検討、震災
支援の継続、原発に依存しない安全
なエネルギーを求める活動を行うこ
とが承認され閉会しました。

(通信員 小城直樹)

■姫路医療生活協同組合

6月22日(金)14時から、イー
グレひめじ・あいめつせホールで
2012年度通常総代会が開催され
ました。会場には総代、理事、オブ
ザーバーを含め230名以上が参
加し、討議
を深めまし
た。



2011
年度のま
めでは、福
祉介護セン
ター『お
つ』を2カ
所同時建設
で開設した
こと、建設

を通して地域の組合員活動が活発化
し地域ネットワークの発展につな
がったこと、生協全体で経営剰余率
2.3%の黒字を確保できたことな
どが報告されました。

2012年度は「事業を通じての
社会貢献で地域包括ケアを推進しま
す」をキーワードに掲げ、安定した
経営と優秀な人材確保・育成に努め、
超高齢社会に対応できるように、事
業活動、組合員活動ともに、積極的
に地域包括ケアのとりくみを進めて
いくことが方針の重点課題として提
案されました。

討議の時間にはブロック・支部・
事業所から、前進した活動や今後の
抱負などが語られ会場も関心をもつ
て聞き入りました。

提案された議案は全て採択され、
総代会を終了しました。

(通信員 岡田佐織)

■ろっこう医療生活協同組合

第28回総代会は総代定数210名
中198名が出席(うち書面議決54
名、9名委任)で成立。役員候補
あわせて213名が参加しました

村上理事長のあいさつ、ご来賓の兵
庫県生活協同組合連合会の大西専務
理事などご来賓のあいさつの後、金
丸専務理事から議案提案、下川監事
から監査報告へと続きました。全体
会では、五つのブロックから、脳イ
キイキ教室、東雲診療所10周年、六
甲道診療所20周年、班会やたまり



されました。永年勤続表彰のあと、
特別アピール「組合員2万人の力を
發揮するため、けんこうクラブを
150に増やし、さらに東日本大震
災支援、脱原発の取り組みを強めま
しょう！」を採択し閉会しました。

(通信員 古市賢二)

■神戸市民生活協同組合

平成22年度通常総代会が、6月21
日(木)午後2時より、神戸海洋博物館
内において総代156名(書面、委
任状出席を含む)及び兵庫県をはじ
め、多くのご来賓の方々にご出席い
ただき開催されました。

矢田理事長が「本年の国際協同組
合年に伴い、アジア太平洋地域総
会が11月に神戸で開催される予定
である。これを機に
協同組合が果たして
いる社会的役割の認
知度を高めて、地域
に根差した市民共済
として役員一丸とな
って、魅力ある共
済生協となるよう努



める。」と挨拶を行い、続いてご来賓の紹介、関係諸団体の祝電披露及び総代の永年勤続表彰が行われました。

その後各議案の審議に入り、

- ・平成23年度決算書類等の承認
- ・平成24年度事業計画及び予算目論見
- ・共済事業との兼業禁止による事業の廃止に伴う定款の一部変更
- ・告知事項を緩和した医療共済提供の為の共済事業規約の一部変更など

全13議案が異議なく可決・承認されました。

また今回は、任期満了に伴う理事の選任が行われ、新任の7名を含む理事16名が選任されました。

(総務課 多鹿純二)

■尼崎市民共済生活協同組合

第57回通常総代会は、平成24年6月4日(月)、尼崎市総合文化センター「玉翔の間」において、総代128名中105名(書面出席を含む)並びに大勢のご来賓の方々の出席をもって開催されました。

稲村理

事 長 は、

「この尼崎市民共済は、地域の皆様への支えにより、本



当に順調に運営をさせていただいている。このような地域密着の共済制度が、顔の見える関係で地域に絆を生み、地域の力を向上させていくことに繋がっているというふうに実感している。今後ともこの組合が地域の皆様お一人おひとりの安全安心を守っていく、そういった要になることを心から願っている。」と挨拶を行い、引き続き平成23年度決算関係書類等の承認をはじめとして、全12議案が審議されました。

議案のうち、平成24年度の事業計画では、国連が今年を国際協同組合年と宣言されているように、組合員の相互扶助という共済制度の重要性と震災で再認識された絆の大切さを強くアピールし、尼崎市内はもとより市外へも宣伝活動を実施していくこと。賃貸住宅事業については、消費生活協同組合法の改正により、本年度をもって終息となることから、残された期間、入居者の快適な住環境の維持に努めることを説明し、12議案すべてが可決承認されました。

(通信員 中村由起子)

■姫路市民共済生活協同組合

第56回通常総代会は6月28日(木)13時30分より、姫路市自治福祉会館7階大会議室において、総代120名(書面、委任状出席を含む)並びに多くのご来賓の方々にご出席いただき開催されました。

事務局が開会を宣言した後、藤田



理事長が「経済状況の変化や高齢化が当組合にも影響を及ぼし、共済募集体制の見直しなどが求められますが、より一層組合員の視点に立ち健全な事業運営に努力します」との挨拶がありました。

その後、来賓の紹介、祝電披露に続いて議事に移り、平成23年度の事業報告、平成24年度事業計画及び予算目論見書の承認等について審議されました。また、平成24年度事業計画では、「組合員の相互扶助」という初心に立ち返り「顔の見える市民共済」として地域に根ざした組合事業の使命を果たせるよう、共済契約加入促進及び広報宣伝の実施に努めていくとの説明があり、全8議案が異議なく可決・承認されました。最後に、一部の理事辞任に伴う補充選任が行われ、2名が選任され、盛会のうちに終了しました。

(通信員 山本悠人)

単 協 人 事

生 協 名	役 職 名	氏 名	生 協 名	役 職 名	氏 名
佐曾利消費生活協同組合	理 事 長	中村 豊	大手前大学生協同組合	専務理事	高橋健太郎
	専務理事	福本 昭夫		生活協同組合連合会 大学生協 阪神事業連合	理 事 長
生活協同組合コープ自然派兵庫	理 事 長	山口 邦子	阪神医療生活協同組合		副 理 事 長
西宮市職員生活協同組合	専務理事	小郷 勝啓		尼崎市民共済生活協同組合	副 理 事 長
兵庫県学校生活協同組合	理 事 長	池田 啓子	姫路市民共済生活協同組合		専務理事
	専務理事	桑村 義敏		近畿労働金庫兵庫地区統括本部	専務理事
兵庫県立大学生協同組合 (園田学園女子大学生協 専務理事兼任)	専務理事	藤井 貴浩	近畿労働金庫兵庫地区統括本部		専務理事
				本 部 長	若山 忠義

協同組合のかけ橋

JF 兵庫県漁業協同組合連合会

今年も淡路島内で アオリイカ産卵床を設置します



淡路では平成19年度より、南あわじ市内の各JFを中心に、バベ（ウバメガシ）等の柴を用いた産卵床を設置して、アオリイカ資源増大を

図っており、平成22年度からは（社）淡路水交会が主体となって、島内全域に区域を拡げて取り組んでいます。その産卵床の設置が今年度も始まり、5～6月に島内各地で順次設置しています。

毎年、設置した柴にはアオリイカの卵塊はもちろんモンゴウイカの卵塊、稚ナマコなども確認されており、メバルなどの仔稚魚の蝸集効果も確認されています。このように産卵床設置の効果が少しずつ実感できており、今後も漁獲量の増加につなげていくために取り組みを継続することが必要です。

一方、遊漁者等による産卵期の小型アオリイカの採捕は、資源への悪影響が懸念されており、淡路市、洲本市、南あわじ市は、島内沿岸でアオリイカ釣りをする人に向けて「7月～9月の間のリリース」、「アオリイカの胴長が15cm未満のリリース」への理解と協力をお願いする啓発看板を設置し、漁業者による資源増大の取り組みや、資源保護についての普及啓発活動に取り組んでいます。

また、このような普及啓発活動は、島内外の釣り人にも周知していく必要があるため、県洲本農林水産振興事務所では、釣り人への啓発ポスターを作成し、島内外のつり餌・釣具店等へ配布して、アオリイカ資源増大の取り組みへの理解と協力について広く啓発していく予定です。



柴を使った産卵床設置の様子



アオリイカ資源の増大を期待して…

JA グループ兵庫

JAあわじ島が 『女子プロ野球リーグで あわじ島野菜をPR』

JAあわじ島は5月5日、ほっともっとフィールド神戸で開催された日本女子プロ野球リーグ「兵庫スイングスマイリーズ対大阪ブレイビーハニーズ」の公式戦に協賛し、JAあわじ島の新鮮野菜やJA共済のPRを行いました。

JA共済連兵庫のオフィシャルパートナーである日本女子プロ野球リーグとの共同企画により実現。今回初めてJAのPR試合として開催されました。

当日は、GWということもあり、球場前には長蛇の列で多くの人でにぎわいました。入場ゲートでは来場者へ「淡路島たまねぎ」のプレゼントを行いました。また、試合途中のPRタイムにはJAあわじ島キャラクター「たまねぎサンちゃん」が登場し、JAあわじ島の野菜を元気いっぱいPRしました。

そして、試合終了後には勝利チーム賞として「季節の野菜詰め合わせ」1年分を贈呈しました。

来場者は「甘くて有名な淡路島たまねぎを食べてみたかった」と思いがけないプレゼントに大喜びでした。



勝利チーム賞を贈呈する仲尾修治共済部長とサンちゃん



最近の消費生活相談事例

充電機でのトラブルについて

繰り返し充電して使用できる充電機は、携帯電話やデジカメ、パソコンなどの電子機器に使われています。充電機に関して、「過熱」「発火」「破裂」「液漏れ」など、安全性に関する苦情が寄せられていますので、充電機の特徴をよく知り、取り扱いに注意しましょう。

事例

自転車ライトに単4乾電池形の充電機を使用していた。半年後、専用の充電器で電池2本を充電し、充電器から取り外したところ、1本から「ジュッ」という音とともに黒い液が霧状に噴き出した。危険ではないか

【アドバイス】

この充電機を調べると、事故品だけでなく、もう1本の電池も液漏れを起こしていました。自転車ライトや懐中電灯などでスイッチを入れっぱなしにすると、電池が定格電圧（※）より低い電圧まで放電される過放電が起こります。今回は、その過放電が起こったため、充電機内部でガスが発生し、安全弁が作動して、ガスとともに電解液が噴き出したと思われます。

（※）定格電圧：機器などを安全に使用しうる電圧の限度

【注意と対策】

今回の自転車ライト取扱説明書には、乾電池（一次電池：充電できない電池）を使用するよう表記されていました。製品によっては乾電池形の充電機が使用できないものもありますので、メーカーの推奨する電池を使用するようにしましょう。

乾電池の電解液には強アルカリ性のものなどが使用されているので、液漏れが起きた場合は手でさわったり、服につけないように注意しましょう。皮膚についたり、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けましょう。

充電機の使い方を誤ると、発熱、液漏れ、破損等の恐れがあります。事故を防ぐために①充電機が触れられないほど熱くなっている場合は、使用をすぐに中止する、②充電機は熱に弱いのでストーブやコンロ周辺、こたつの中に入れないようにし、車内への放置も避ける、③充電機に強い圧力や衝撃を与えない、④液漏れや変形、傷のある充電機は使用しない、⑤専用の充電器で充電する、以上の注意点を踏まえた上で使用するようにしましょう。

（兵庫県 生活科学総合センター 078-303-0999）

MOVE

●平和のつどい・ピースアクションの取組み

ぜひ、お近くの取組みにご参加ください。

日・時間	内容	参加費	会場	問い合わせ先
7月14日(土) 10:00-12:00	大人と子どもをつなぐ平和へのちかい 小学生・中学生・高校生・大学生からの報告	無料	コープこうべ生活文化センター (神戸市東灘区)	コープこうべ 第3地区本部 TEL:078-412-3771
7月22日(日) 10:00-12:00	映画「一枚のハガキ」	無料	コープカルチャー宝塚 (宝塚市売布)	コープこうべ 第1地区本部 TEL:0797-83-1018
7月23日(月) 13:00-15:10	落語家笑福亭鶴笑さん講演会 「笑いは世界の共通語」	大人:500円 小・中・高生:200円	垂水勤労市民センター レバンテホール (神戸市垂水区)	コープこうべ 第5地区本部 TEL:078-937-0082
8月23日(木) 10:15-12:30	「最後のトマト」 ～ヒロシマを私自身の「ことば」で～ 元・コープこうべ理事長、 兵庫県ユニセフ協会会長 竹本成徳さん	無料	コープこうべ第6地区本部 (姫路市)	コープこうべ 第6地区本部 TEL:079-285-3941
9月16日(日) 10:30-12:30	「最後のトマト」 元・コープこうべ理事長、 兵庫県ユニセフ協会会長 竹本成徳さん	無料	コープカルチャー神戸北 (神戸市北区)	コープこうべ 第4地区本部 TEL:078-583-8411
9月28日(金) 13:00-15:00	キベラスラムの子どもたち ～すべてのいのちはたからもの～ 早川千晶さん	無料	西宮プレラホール (西宮市)	コープこうべ 第1地区本部 TEL:0797-83-1018
11月18日(日) 13:30-15:30	NPO法人「ルワンダの教育を考える会」 理事長カンベンガ・マリールイズさん	無料	西宮市役所7階ホール	コープこうべ 第2地区本部 TEL:0798-67-6780
8月19日(日) 10:00-12:00	誰のせいやねんあの戦争 ～次世代に語り継ごう戦争体験～IV	無料	未定	阪神医療生協(大石) TEL:06-6481-5504

●退任のご挨拶

大西 憲 慈

第62回兵協連通常総会が、代議員・役員をはじめ、会員生活協・団体、行政、協同組合の皆様等のご指導、ご支援をいただき、無事終了いたしました。

つきましては、今回の役員改選にあたり、出身元生協の役員定年に伴いまして、退任いたしましたので、ご報告と御礼を申し上げます。

今年は2012国際協同組合年でもあり、一段と活動に、知恵と力を傾注することが求められます。幸いにして、三宅専務理事、濱田事務局次長、中尾担当の、新しい戦力がすでに配置され次への始動を開始しており、心強く思っているところです。以前にも増してのご指導、ご鞭撻をお願いいたします。簡単ではございますが、世界と協同組合の未来、そしてお互いの人生が、平和でより有意義なものでありますよう祈念し、御礼のご挨拶とさせていただきます。



●就任のご挨拶

濱田 昌 文

兵協連会員生活協の皆さま、こんにちは。この度、6/19付人事異動により、コープこうべ共済センターから着任いたしました濱田昌文と申します。私は、1978年に灘神戸生協(1991年コープこうべに改称)に入所し、現在の宅配担当の家庭係を皮切りに、広報部、大阪北生協総合企画室(出向)、コープステーション、生活文化センターを経験しました。2009年からは再び大阪北生協総合企画室(出向)で、主にコープこうべとの合併に関する仕事に携わりました。その後、コープ共済センターを経て、「2012年国際協同組合年」の年に兵庫県生活協連・事務局次長を担うことになりました。「協同の力で未来を拓く協同組合」の力を信じて、会員生活協の皆さまとの相互理解と協同組合間の連携が深まるように頑張りたいと思います。皆さま、よろしく願いいたします。



編集後記

第62回通常総会で、大西専務が定年で退任されました。約40年、生協でご活躍されました。お疲れ様でした！満面の笑みになる、大好きなビールを楽しみなながら、お身体に気をつけてお過ごしください。そして三宅専務を迎え、濱田次長と私との若葉マーク(?)3人の兵庫県生活協連をどうぞよろしくお願いいたします。☆7月は七夕。最近では「サマーバレンタインデー」という洒落な呼び名もあるそう。願いごとが多すぎて、笹がしなっってもいけないので(?)、今年は一ひとつにしておきます。「兵協連だより」のお便り待ってます。(中尾)

- 7月3日(火) 兵協連 第1回保健・医療・福祉研究会 (県民会館ばら)
- 7月6日(金) 第90回国際協同組合デー・兵庫県記念大会 (東灘区民センター うはらホール)
- 7月10日(火) 兵協連 第1回医療生協部会 (県民会館ばら)
- 7月11日(水) 兵協連 第1回生活問題研究会 (県民会館302)
- 7月19日(木) 兵協連 第2回生協活動委員会 (県民会館 らん)
- 7月20日(金) 兵協連 第1回共済生協委員会 (県民会館 ばら)
- 7月25日(木) 兵協連 第3回ピースアクション企画委員会 (県民会館 302)
- 7月27日(金) 兵協連 第3回労働安全衛生研修・学習会 (県民会館 ぼたん)

県連日誌